

# にけーしよん

## 7/12・13 筑前琵琶奏者「川村旭芳」演奏会!



一本松中学校で、一本松地域の小中学生を対象に「ほっと計画委員会(河野 満代表)」主催による筑前琵琶奏者「川村旭芳」演奏会が開催されました。

川村さんは、昨年度の「トレッキング・ザ・空海あいなん」の「花へんろコンサート」にも出演された方で、今回、「平家物語」の冒頭の一節「祇園精舎」と義経と静御前の悲恋の物語を詠った「舞扇鶴ヶ岡」、小泉八雲の怪談「雪女」などを、哀愁漂う筑前琵琶の音色に乗せて披露しました。13日には内海中学校でも開催され、小中学生や保護者・教職員、地域の方々など約250名が日本の伝統の琵琶の調べと古典の朗詠を鑑賞しました。



## 7/13 人権コンサート 「あなたに会えてよかった」!

御荘文化センターで、町職員・教職員・議員などを対象に人権・同和教育研修会の一環として、高知県などを中心に活躍している「う～み」さんによる人権コンサート「あなたに会えてよかった」が行われました。

「う～み」さんは学生時代、バスケットボールの練習中の事故で頸椎を損傷し、全身に障害を持つ身になって生きる希望を失っていました。友人の一声で幼少時代に憧れていた音楽の世界に入り、音楽活動を通じて心身ともに回復。今度は私が恩返しをしたいと、学校を中心に、「命の大切さ、命はつながっている」ことを訴えるライブパフォーマンスをライフワークとして活動しています。

「う～み」さん自身の体験に基づくトークと思いのこもったやさしい歌声を通して命の大切さを改めて感じられるコンサートとなりました。



## 本日!海日和!! 「百魚夜行」

毎日暑い日が続いていますが、この季節ならではの楽しみにナイトダイビングがあります。夜の海に潜ると、昼間は見ることのできない魚がうようよ。百鬼夜行ならぬ百魚夜行の世界です。

この日はセミホウボウに出会いました。水中ライトの光に驚いたのか、胸鰭を大きく広げ、フラッシングしました。フラッシングというのは、鮮やかな模様を急に敵に見せて、相手が驚いているうちに逃げるといった戦法です。

懸命のフラッシングに驚くどころか、喜んでついてくるダイバー(私のことです)に根負けしたのか、とうとう胸鰭をたたんで、深い所へと泳ぎ去ってしまいました。

(2010.8.18:西ノ浜 水深8m)環境省自然公園指導員 西尾知照



# 愛南こみゆ

## 6/18 ありんこくらの講演会!

御荘文化センターで、障害児者の家族・支援者の会「ありんこくらの会(宮崎和友会長)」主催による「緊急!ありんこくらの講演会 震災と災害弱者～口から見える絆とは～」が開催され、福祉関係者など約60名が参加しました。

この講演会は、障害児・者の家族の立場から今回の東日本大震災から学ぶべきことを発信しようと、一本松オープンチャリティゴルフ大会実行委員会から受けた寄付金を活用して開催されました。

講師の歯科医師 升田勝喜さん(松前町)からは、被災地で在宅医療ボランティア活動を通じて被災者の口腔ケアの重要性、災害弱者との綿密なネットワークの必要性などをお話いただきました。



講師の升田医師



## 6/19 あいなん学生音楽祭!

御荘文化センターで、南宇和高校吹奏楽部をはじめ、内海・御荘・城辺・一本松の各中学校、町外からは片島中学校(宿毛市)、広見中学校(鬼北町)の音楽部や吹奏楽部が参加して「あいなん学生音楽祭2011」が行われました。

吹奏楽曲だけでなく、ジャズやポップス、校歌やアニメソングなど幅広いジャンルの楽曲が演奏され、各中学校の楽しく元気な演奏や高校生の迫力ある演奏に会場から惜しみない拍手が送られていました。

また、愛媛大学教育学部の学生6名で構成されるトーンチャイム・アンサンブルグループ「ブルガリア」がゲストとして演奏し、アルミ合金で作られたハンドベルの一種であるトーンチャイムのやわらかな澄んだ音色を披露しました。

フィナーレでは、ゲストの「ブルガリア」による伴奏で唱歌「ふるさと」を会場全体で合唱しました。



## 7/2 DE・あ・い・七夕まつり

DE・あ・い・21で、恒例の「DE・あ・い・七夕まつり」が開催され、特設ステージではアマチュアバンド5組による演奏があり、夜市ではヒオウギ貝の浜焼きや「由良の媛っ子地鶏」の焼き鳥などの特産品が出品され、館内では巨大そうめん流しが行われました。途中から雨模様となりましたが、約400名の来場者で賑わいました。

また、ステージ前では愛南警察署の白バイ乗車体験も行われ、多くの子ども達がうれしそうに白バイにまたがって記念撮影などをしていました。